



家畜衛生だより



令和5年度第9号（牛・緬山羊） 令和5年8月発行

東部・北部家畜防疫獣医師会
（公社）千葉県畜産協会
千葉県東部家畜保健衛生所
電話 0475(52)4101
FAX 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

夏季休暇期間における衛生管理の強化について

新型コロナウイルス感染症の影響で抑制されていた人・モノの移動が回復しつつあり、訪日外客数の増加や、夏季休暇を迎え日本人観光客も多く渡航することが想定されます。

本年5月には、ワクチン接種国である韓国で4年ぶりとなる口蹄疫の発生が確認されるなど、アジア・ヨーロッパ各地で家畜の伝染病の発生が続いており、日本への侵入のリスクは依然として高い状況です。
家畜伝染病の病原体侵入防止のため、防疫対策の徹底をお願いします。

伝染病の侵入・まん延を防ぐために

- ✓ 農場への部外者立入禁止
- ✓ 来場者の記録と保管
- ✓ 農場に出入りする車両の消毒
- ✓ 手指、長靴などの物品の洗浄、消毒（消毒後の再汚染防止）
 - ※ 消毒薬は適切な濃度で使用
 - ※ 踏込消毒槽は最低1日1回以上交換
- ✓ 野生動物の侵入防止、ねずみ・害虫の駆除
- ✓ 畜舎壁・天井の破損の点検
- ✓ 毎日の健康観察、異常家畜を発見した場合の早期通報
- ✓ 口蹄疫発生地域への渡航自粛
- ✓ 肉製品など畜産物の持ち込み禁止
 - ※ 特に外国人技能実習生を受け入れている場合は注意！



～～～台風・大雨被害に備えましょう～～～

- ・ 発電機や排水ポンプ等の準備
- ・ 飼料や燃料の在庫は、1週間分以上の量を保有しておく
- ・ 飲用水の貯留タンク設置など
- ・ 被災時の対応、緊急連絡先を確認しておく



東部家畜保健衛生所 TEL 0475-52-4101 FAX 0475-52-3335

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。



口蹄疫の症状



疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛、山羊、羊、豚などで発熱や食欲不振に始まり、**泡状のよだれ**を流したり、**口、鼻、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～牛の症状～



泡状のよだれ

写真：宮崎県提供



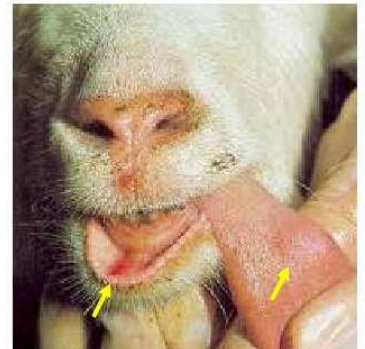
上顎口唇潰瘍

写真：動物衛生研究部門提供



破れた水疱

～山羊の症状～



口周囲に水疱

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。

1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

配合飼料タンクの安全点検を！

- ✓ 配合飼料タンクを支える支柱、上がるためのはしご等の腐食、不具合がないか
- ✓ 配合飼料タンクの傾きがないか
- ✓ はしごの昇降がスムーズに行えるよう、タンク周辺の除草等周辺環境を整備しているか

暑熱対策について

- ・遮光ネットやよしずによる日よけ
- ・屋根への断熱材設置、石灰乳塗布、スプリンクラーの設置
- ・換気扇、扇風機による送風、畜体への散水
- ・密飼いを避ける
- ・清潔で冷たい飲用水、良質で消化率の高い飼料、ビタミン・ミネラルの補給

